

| | | | |
|----------|--|-------------|--|
| 科目 | 工業熱力学 (Engineering Thermodynamics) | | |
| 担当教員 | 吉本 隆光 教授 | | |
| 対象学年等 | 機械工学科・5年D組・前期・必修・1単位(学修単位I) | | |
| 学習・教育目標 | A4-M2(100%) | JABEE基準1(1) | (d)1,(d)2-a,(d)2-d,(g) |
| 授業の概要と方針 | 蒸気原動機, 内燃機関, ガスタービン, ジェットエンジンなどの熱機関サイクルを理解して, エネルギー変換技術についての知識を習得する. | | |
| | 到達目標 | 達成度 | 到達目標毎の評価方法と基準 |
| 1 | 【A4-M2】各種熱機関サイクルを理解して, 熱と物質移動の基本を理解する. | | 熱機関サイクルおよび熱と物質移動の基本を理解しているかを, 中間・定期試験・レポート・小テストで評価する. |
| 2 | 【A4-M2】熱エネルギーを動力に変換する技術を理解し, また熱機関の構造をも把握する. | | 熱エネルギーを動力に変換する技術や熱機関の構造を理解しているかを中間・定期試験・レポート・小テストで評価する. |
| 3 | 【A4-M2】熱エネルギー変換の応用技術について考察できる思考力をつける. | | 熱エネルギー変換の応用技術について考察できる思考力がついているかを中間・定期試験・レポート・小テストで評価する. |
| 4 | 【A4-M2】基礎的熱力学を理解し, その応用技術としての熱機関の性能および効率についての評価能力をつける. | | 基礎的熱力学を理解し, その応用技術としての熱機関の性能および効率について理解しているかを中間・定期試験・レポート・小テストで評価する. |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 総合評価 | 成績は, 試験80% レポート10% 小テスト10% として評価する. 100点満点で60点以上を合格とする. | | |
| テキスト | 「熱機関工学」: 越智・老固・吉本(コロナ社) | | |
| 参考書 | 「大学演習工業熱力学」: 谷下市編(掌華房) 「図解 熱力学の学び方」: 谷下・北山(オーム社) | | |
| 関連科目 | 4年生工業熱力学 5年生エネルギー変換工学 | | |
| 履修上の注意事項 | | | |

